

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 橋本市

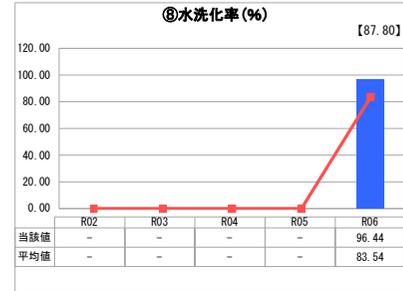
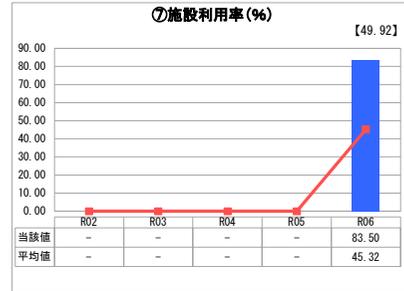
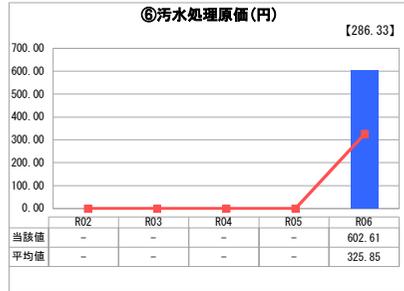
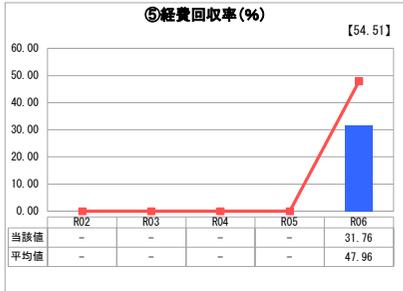
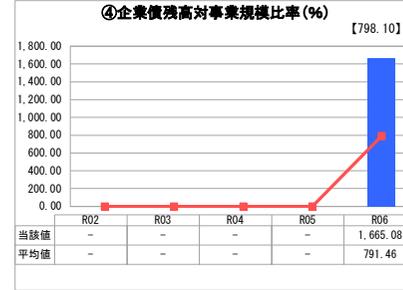
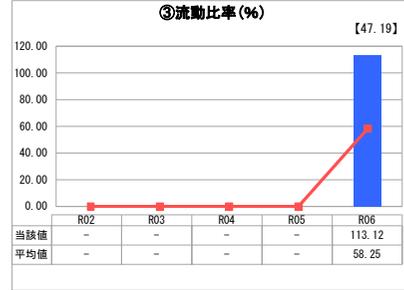
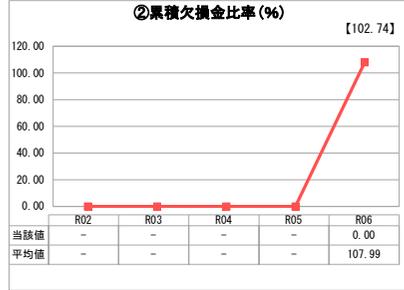
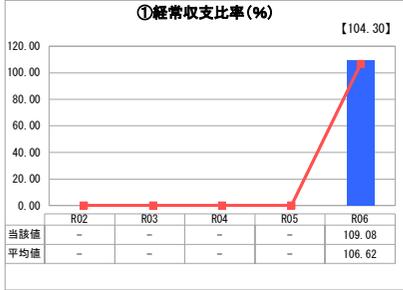
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金 (円)
-	78.87	0.53	92.93	4,176

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
58,792	130.55	450.34
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
309	0.16	1,931.25

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は平均値を上回りましたが、これは費用を抑制したことによるもので、汚水処理に要する経費を使用料収入で賄うことができず、多額の一般会計繰入金に依存している状況です。今後も人口減少により使用料収入の増加は見込めず、厳しい経営状況が続くと予想されます。

③④⑤ 流動比率は類似団体平均よりも上回っているが、企業債残高対事業規模比率、経費回収率が芳しくないため望年度厳しい状況が続くと予想されます。経営を改善するためにも、公共下水道への接続を進めていきます。

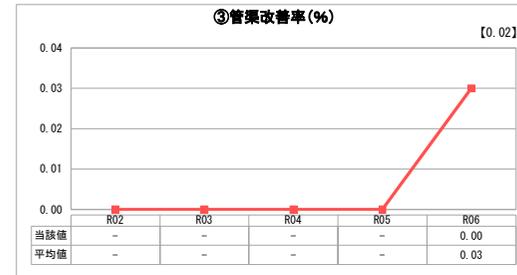
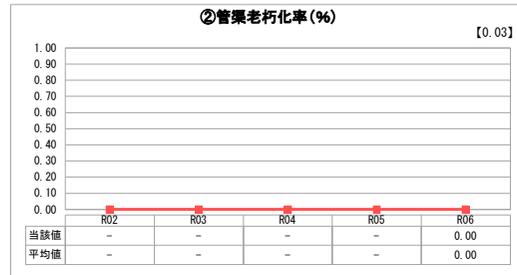
⑥ 物価高騰による影響もありますが類似団体平均よりも約2倍に近い数値となっています。このような状況を改善するためにも公共下水道への接続を進めていきます。

⑦⑧ 類似団体平均値よりも高い水準ですが、今後の経営改善のためにも公共下水道への接続を進めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

本事業は、平成6年度に事業着手し、平成10年度から一部供用を開始し、平成15年度に全区域の供用を開始しました。管渠や処理場は比較的新しく不具合が生じていませんが、ポンプ施設や処理場内の機械器具のように耐用年数の短いものは、不具合が生じるに修繕を行うことで凌いでいる状態です。今後は、接続可能な区域は公共下水道への接続を進めるとともに、施設更新計画を策定し、計画的な更新事業を進めていきます。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

令和6年度より法適用を行いました。また、処理場の改築更新を避けるため、4地区の処理区域のうち令和5年度末に2地区、令和10年度までに1地区を公共下水道に接続し、残る1地区も令和10年度以降に公共下水道に接続し収支の改善を図るとともに農業集落排水事業の廃止に向けて事業を進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。